

平成 26 年度 第 203 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 26 年 4 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 10
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、江本事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

配布資料 1 欠員補充申請書 (外国語学部)
2 名誉教授の称号授与について
3 社会システム研究科博士後期課程の教育改善について
4 平成25年度公開講座実施状況/平成26年度公開講座事業計画一覧
5 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会審査状況報告
6 任期制見直しに伴うワーキングの設置
7 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 教員の採用について

* 資料1のとおり、外国語学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで退職した総田芳憲准教授の後任として、韓国・北朝鮮の地域研究科目担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 名誉教授の称号授与について

* 資料2のとおり、名誉教授の称号授与について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第 3 号 社会システム研究科博士後期課程の教育改善について

* 資料3のとおり、社会システム研究科博士後期課程の教育改善について提案。

- 第15回大学院教育改善委員会(平成26年4月8日開催)で承認された社会システム研究科博士後期課程の教育改善について、提案するものである。
- 平成27年度から、修了要件単位数を特別研究の12単位のみとし、研究科目は自由科目として履修できることとした。また、従来の演習科目を廃止し、研究科目も見直した結果、科目数を80科目から47科目とし、授業科目のスリム化を図った。
- 複数の教員による指導体制の強化については、研究指導員及び副研究指導員の役割をより明確にし、履修ガイドに明記することとした。
- 博士前期課程との接続については、博士後期課程の学生が、博士前期課程の授業科目を履修できることに加え、博士前期課程の学生が、博士後期課程の授業科目を4単位まで履修することができることとした。
- 学位授与方針、教育課程編成・実施方針については、基本的な部分での変更はないが、文言等一部修正を行った。
- 国際開発政策コースが東アジア社会圏領域の中にあるコースと考えたらよいか。
- 国際開発政策コースは、領域と同様の取扱いでよい。
- 今後は、社会システム研究科規程の改正は社会システム研究科、学部推薦制度の導入は社会システム研究科及び法学研究科に引き継ぐこととし、大学院教育改善委員会の役割を終えることとしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成 25 年度公開講座実施結果及び平成 26 年度公開講座実施計画について、資料 4 のとおり報告があった。
- ② 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の審査状況について、資料 5 のとおり報告があった。
- ③ 任期制の見直しに伴うワーキングの設置について、資料 6 のとおり報告があった。
- ④ 教員の海外出張について、資料 7 のとおり報告があった。
- ⑤ 次回の審議会を 5 月 13 日（火）に開催する予定である旨、報告があった。